



研究計画発表（AI班） くらしを助けるAIと しごとを取って代わるAI

インターゼミ2018年度AI班：

荒井綺花、和泉遼、市川駿、馬場新、野呂瀬晋也、一杉波音（経営情報学部）

加藤とまむ、進藤瑞生、田邊輝広、西田良太、矢作真志（グローバルスタディーズ学部）

小縣力郎、酒向雄介（大学院経営情報学研究科）

指導教員：久保田貴文 准教授、久恒啓一 教授（経営情報学部）

渡邊 泰典 教授（グローバルスタディーズ学部）



問題意識

くらしとAI

社会的弱者への医療と福祉に対する貢献とは何か？

そして、高齢者社会に対する貢献とは？

仕事とAI

AIが単純な知的労働を代替することで、労働人口の減少に対応し、人間がより価値の高い仕事に集中できるのでは？

そのとき課題はないか？

チームメンバー一覧

「くらし」チーム

和泉， 荒井， 加藤， 矢作， 西田， 小縣

「しごと」チーム

進藤， 田邊、一杉， 馬場， 酒向， 市川， 野呂瀬



研究の計画

くらし

しごと

代替としてのAI

- ・がんの早期発見に貢献するAI
- ・薬の処方箋を考えるAIなど



採用選考の一部をAIに任せる企業、顧客や社員の問合せにAIを活用する企業など実用されつつある代替としてAIを研究する

補助としてのAI

- ・障がい者を支援する機能としてのAI
- ・要介護者の支援をするAI



AIを取り入れている宅配事業
航空会社や空港サービスの効率化に活用されてるAI

「くらし」を豊かにする『AI』

人として生きることの喜び＝

生きがい



障がい者



高齢者





「くらし」を豊かにするAI 事例

- ・ 障がい者や高齢者の体温・発汗量等の情報を分析し、その人に適した健康改善を提案するAI（医療）
- ・ AI/IoTによって、障がい者を持つご両親が安心して人生を送れる社会環境整備（福祉）
- ・ 「人」の「生き甲斐」に繋がるAI利用（医療/福祉）
※AIBOやPepperなどのAI



リサーチクエスト『くらし』

- 人間の生産を高めるためのAI 労働力からの解放や社会的弱者の味方とは、どうあるべきか？
- 「くらし」や「しごと」において、「人」が感じる「ストレス」から解放された時、「人」は何を行うのか、を考える。
- その為に、「AI」やそれに関わるデジタル技術を研究し、真の「豊かな人生」とは何かを模索してみる。

「人」に代わり「しごと」を行う『AI』

「人」にしか出来ない「しごと」 = 人間性



仕事からの解放



人の創造活動





リサーチクエスト『しごと』

- ・ AIと人間が補完し合うためには、人間はどのようなスタンスを取るべきか。
- ・ AIが人の仕事を変える部分は、どのようなモノか。
- ・ AIが『代替』する仕事と『補助』する仕事には、どのような違いがあり、人間が生産性を高め創造的な仕事をするためには何が必要か。



フィールドワーク

- ・ 株式会社デコム : 松本健太郎氏 (多摩大学大学院修了)
- ・ 【案】 木村情報システム : Watson を活用したサービス <https://www.k-idea.jp/product/ai/>
- ・ 【案】 パソナ : RPA を活用したBPR <https://www.pasona.co.jp/clients/solution/rpa/>
- ・ 【案】 スマートクルージョン研究会 <http://www.smartinclusion.net/>

(IoT/AI×障害者が日本の未来を創る・・・障害者の社会参加をテクノロジーで)

- ・ 【案】 国立がん研究センター

https://www.ncc.go.jp/jp/information/pr_release/2017/0710/index.html



今後の予定

- ・「医療G」と「福祉G」による「AI」活用の実態調査（文献等）
- ・フィールドワークによる「IoT/AI×障害者」将来像について研究
（スマートインクルージョン研究会 予定）
- ・「ストレスのない社会再設計」による「人」の営み（生き甲斐など）の研究
- ・「AI」と「人」との協業から見える「これからの人とは何か？」の研究



文献

- ・ 暮らし関係

竹村和浩（2017）「スマートインクルージョンという発想 IoT/AI×障害者が日本の未来を創る」, good.book

- ・ しごと関係

- ・ その他

松尾豊（2015）「人工知能は人間を超えるか」, 角川EpuB選書

西垣通（2016）「ビックデータと人工知能」, 中公新書